

(1)事業の概要等

令和6年度 事務事業評価シート

事業番号		B1602-2		事務事業名			一般事務事業窓口業務委託料				事業期間			平成8年度		～	令和8年度以降				
実施計画事業				担当部			健康生きがい支え合い推進部				担当課・担当係			味岡市民センター 公民館係							
実施計画事業以外の事業		○		担当部			健康生きがい支え合い推進部				担当課・担当係			味岡市民センター 公民館係							
事業 の 概 要	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	分野別計画編		基本 施策	16	展開 方向	2	事業・予算区分		一般事業		款	10	項	5	目	2	大	8	中	1
	根拠法令 ・個別計画	社会教育法、小牧市公民館の設置及び管理に関する条例、小牧市公民館の管理に関する規則、小牧市公共施設長寿命化計画									市民センター利用者										
	目的 (何のために)	市民が生涯学習に快適に取り組めるように、施設機能の充実や市民ニーズに対応したサービスの提供を目指す。							内容 (どのような方法で)		【令和5年度の実施状況】 生涯学習・発表会・会議等として利用する市民等に貸館(利用予約・料金徴収等)及び備品の貸出し等をしました。 ○開館日数 ※309日 ○利用件数 ※3,310件 ○利用人数 ※86,042人 ○直接経費の内訳(令和5年度) ・窓口業務委託料(4,826千円) ○直接経費の内訳(令和6年度) ・窓口業務委託料(5,522千円)										

(2)事業費

事業費	項目				単位等	R2	R3	R4	R5	R6
	直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	4,066	4,130	4,130	4,826	
				国・県支出金		-	-	-	-	
				その他		-	-	-	-	
			計(A)		4,066	4,130	4,130	4,826		
			対前年比		%	—	101.57%	100.00%	116.85%	
		予算額		千円	4,241	4,500	4,130	4,835	5,522	
	人件費	正規職員		人	0.3	0.3	0.3	0.3		
		正規職員(平均賃金)		千円	2,246	2,246	2,246	2,246		
		その他職員		人	0	0	0	0		
		その他職員(時給×時間)		千円	0	0	0	0		
		計(B)		千円	2,246	2,246	2,246	2,246		
事業費合計(C=A+B)			千円	6,312	6,376	6,376	7,072			

(3)業績

展開方向における指標の推移	基本施策	16	指標名		単位	方向性	基準値	R5	R6	R7	R8
			1	公民館利用率	%	↗	38.5	42.5	-	-	
	展開方向	2	2								
			3								
指標	指標ほか				単位		R2	R3	R4	R5	R6
	成果指標	公民館利用率(味岡市民センター)	%	目標		34.8	36.0	38.5	42.5	42.5	
				実績		34.2	40.5	44.0	44.6		
				目標							
				実績							
	活動指標	公民館利用件数(味岡市民センター)	件	目標		2,840	2,840	2,830	2,830	2,830	
				実績		2,082	2,360	3,234	3,310		
		公民館利用人数(味岡市民センター)	人	目標		99,000	99,000	82,000	82,000	82,000	
				実績		44,473	58,707	78,857	86,042		
	単 位 事 業 費 あ た り	受益者数(a)				人	44,473	58,707	78,857	86,042	
		受益者あたり事業費(=C/a)				円	141	108	80	82	

(4-1)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維 持(改 善)		事業のボリュームは現状規模で維持するものの、手法の改善をするもの							
	事業の達成状況と課題	令和4年度以降、空調機器の劣化により夏場に正常稼働しない日が続き、施設利用の阻害要因はあるものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着き、令和5年度には感染症法の位置付けが2類から5類へ引き下げられたことや小牧市民会館・市公民館の大規模改修により利用できなかった者が最寄りの味岡へ流入したことにより、利用件数及び利用人数において成果指標及び活動指標の目標値を達成することができた。今後は引き続き目標値達成に向けた施設整備をする必要があり、また令和5年10月より市民窓口課及び支所窓口業務契約と市民センター(公民館)窓口業務契約を一本化したことにより窓口業務職員の変動があったため、職員の早期習熟が必要である。			今後の実施内容・今後の改善内容	成果指標及び活動指標の目標値達成を継続していくため、劣化した空調機の残り2機を更新するとともに、日常の保守点検及び定期点検に加え、小牧市公共施設長寿命化計画に基づき、施設の老朽化などに対応した修繕等を計画的に推進し、快適に施設利用できる環境を整える。開館から28年が経過した施設であることから、維持管理及び修理に係る経費は増加していくことが想定されるため、一者随意契約の見直しや仕様書の精査により経費削減を図る。また、職員の早期習熟として、新システム用のマニュアルを作成し、あわせて窓口受付マニュアルも改定していく。					
	改善の有無	有			事務事業評価	千円 節 細節 細々節					
	これまでの改善内容	令和4年度の1月から新施設予約システムが稼働し、ネット予約及びネット決済ができるようにしたこと窓業務が軽減された。冷暖房を制御する空調機3機の内、1機を機器更新することで、利用者の利便性が向上した。			事務事業評価						

(4-2)事業継続の可能性(事業のスクラップ可能性)

事業分析	評価項目		評価結果	評価結果を判断した理由
	妥当性	行政が公費を投入して実施することが妥当か(対象を見直すことはできないか)	妥当である	市民が生涯学習に係る活動で市民一人ひとりがつながり、相互に学び合うことができる場の提供に係る窓口業務に公費を投入することは妥当。
	有効性	廃止・休止した場合に住民が影響を受けるか	多くの住民に影響がある	人生100年時代と言われる中で、生涯学習活動の重要性は高まっており、窓口業務を廃止・休止することは多くの市民に影響が出る。
	効率性	サービスを低下させずに総事業費を削減できないか	現状のままでよい	令和5年10月から市民窓口課及び支所窓口業務契約と市民センター(公民館)窓口業務契約を一本化し、事業費削減・業務効率化を図っているため、現状のままとしたい。
		外部への委託や類似事業との統合により事業費の削減の余地はないか	現状のままでよい	令和5年10月から市民窓口課及び支所窓口業務契約と市民センター(公民館)窓口業務契約を一本化し、事業費削減・業務効率化を図っているため、現状のままとしたい。
	公平性	受益者負担は適正か	適正である	令和3年度に他市町村と使用料等を比較し、令和4年度から使用料を見直しており、受益者負担は適正である。